



鳥取大学医学部附属病院

「在宅医療推進のための看護師育成支援事業」

第4回 T-HOC 特別セミナー

特別講演&事業報告

ストレングスモデル

ストレングスモデルは潜在能力や
環境など、その人の強みに着目して、
尊重し、支援者と協力しながら
その人らしさを支えるよう
組み立てていくもの。



K.S

平成
29年 **3月13日** 月 **参加
無料**
14:30~16:30 [14:00より受付開始]

会場

米子コンベンションセンター 2階 小ホール

鳥取県米子市末広町294番地

対象:医療・看護・介護・福祉の関係者および学生/一般の方/プログラム受講生
申込:裏面のFAX参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

特別講演

講師

寺田 悦子

株式会社 円グループ 代表取締役
(看護師・精神保健福祉士介護支援専門員)

「ストレングスモデルの
実践活用術」



主催 お問い合わせ先

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター 在宅医療推進支援室

TEL:0859-38-6994 / FAX:0859-38-6996

www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/hoc/



第4回 T-HOC特別セミナー

プログラム

[14:00～受付]

- 14:30 ●開会の辞
鳥取大学医学部附属病院長 清水 英治
- 14:35 ●特別講演
「ストレングスモデルの実践活用術」
講師：株式会社 円グループ 代表取締役 寺田 悦子
- 16:05 ●質疑応答
- 16:15 ●事業報告会
「在宅医療推進のための看護師育成プログラム」
在宅医療推進支援室 副室長 大草 智子
助教 山西 由希子
- 16:30 ●閉会の辞
事業担当責任者 花木 啓一

特別講演

「ストレングスモデルの実践活用術」

講師

寺田 悦子

株式会社 円グループ 代表取締役
(看護師・精神保健福祉士・介護支援専門員)

10年前に訪問看護ステーション円を設立。現在は「訪問看護ステーション 円」と「訪問看護ステーション 卵」の2ヶ所の(株)円グループで活動中。各訪問看護ステーションで、ストレングスモデル・リカバリーモデルを導入されています。今回、実施事例を踏まえた「ストレングスモデルの実践活用術」についてご講演頂きます。

ストレングスモデルとは

これまでの看護師は、問題解決モデルでプランを立てることが中心であった。これに対しストレングスモデルは、潜在能力や環境など、その人の強みに着目し、尊重し、支援者と協力しながらその人らしさを支えるよう組み立てていくものである。

在宅復帰を目指すうえで、ストレングス(強み)を活かしたケアが注目されており、患者・利用者のストレングスを見出すためには、信頼関係の構築が重要である。

会場アクセス

米子コンベンションセンター
BiG SHiP

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294
TEL.0859-35-8111 FAX.0859-39-0700
※米子駅から徒歩5分

ビッグシップ前立体駐車場をご利用いただき、
駐車券を会場までお持ち下さい。
セミナー会場にて無料の手続きをさせていただきます。



FAX参加申込書

●必要事項を記入し、FAXにてお申し込みください。FAX:0859-38-6996 締切:3/8水

●ご不明な点がございましたら、お電話にて下記までお問い合わせください。

TEL:0859-38-6994 [医療スタッフ研修センター在宅医療推進支援室]

お名前

ふりがな

所属

職種

連絡先